

# 第 83 回 道南スキー選手権スラローム

2026 年 2 月 14 日(土) 函館七飯スノーパーク

小学 5~6 年 女子



中学 女子



高校 女子



小学 1~2 年 男子



小学 3~4 年 男子



小学 5~6 年 男子



60～69 歳 男子



特別賞・敢闘賞



特別賞・敢闘賞



理事長あいさつ



# 第 83 回 道南スキー選手権GSL(大回転競技)

2026年2月15日(日) 函館七飯スノーパーク

小学 1~2年 男子



小学 3~4年 男子



小学 5~6年 男子



中学 男子



小学 5~6年 女子



高校 女子





## 第 83 回 道南スキー選手権を終えて

### 競技部長 小田として思うこと

写真をご覧になってもお分かりの通り、深刻なジュニア層の減少や2月というのに温暖化による雪不足や高温と厳しい環境にある一方時代に合わせた競技スキーの楽しみ方の提示が必要となってきております。

子供たちが雪に触れる機会が少なくなっている道南の冬の環境は、「未来はいつも新しい楽しい」ではなくなっています。

スキー遠足もなし、夏暑いから長く家に「冬休みは短く」なんて感じに。

テレビでは、アルペンは日本人が出場しているスラロームでもほとんどテレビには流れてこないアルペンこそ花形だと思っている人は、きっと60歳を過ぎた方々に多いんだらうと60を過ぎた自分が寂しくなります。【参加するだけに終わっているのもあるんだらうけど】また昔昔の話になりますが競技スキーは誰もがやれたような気がします。

でも今は家庭の経済的負担が競技スキーをエリートスポーツに変え情熱だけじゃ無理なのでジュニアスキーヤー・コーチ・保護者が苦戦しているのが現状だと思っています。

解決策を見つけることの重要性はみんな分かっていますが見つからないのも実情です。でも83年間継続されているこの大会だけは続けていかなければならないと思うのも自分だけかもしれません。若い人たちにバトンを渡す年になって思うこと。

「継続は力なり」です。